

令和4年1月28日  
村田高校図書館

# としょかんだより

令和4年1月号

## 令和3年度校内読書感想文コンクール優秀作品発表

最優秀賞 3-1 相原彩月 「知らない映画のサントラを聴く」  
最優秀賞 3-2 大宮さつき 「一日を精一杯生きる」  
優秀賞 1-1 村上羽希 「愛に殺された僕たちは」  
佳作 1-2 大友海澄 「神去なあなあ日常」

受賞者の皆さん、おめでとうございます。

今年の感想文は素直な感性が光っていました。来年度もたのしみです。

### 新規受け入れ本の紹介

眠れぬ夜はケーキを焼いて 2  
星を掬う

さよならも言えないうちに

護られなかった者たちへ

平安男子の元気な！生活

電気自動車メカニズムの基礎知識

自動車エンジンの基礎知識

親の期待に応えなくていい

みんなに好かれなくていい

もがいてもがいて古生物学者

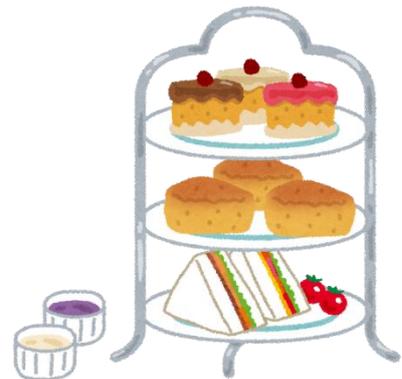
海獣学者クジラを解剖する

おもしろ吹奏楽事典

必ず役立つ吹奏楽ハンドブック

百鬼夜行絵巻をよむ

などなど





こんな本もあります

## 「本と鍵の季節」 米澤穂信著

直木賞を受賞した米澤穂信の青春図書室ミステリー。

堀川次郎は高校二年の図書委員。利用者のほとんどいない放課後の図書室で、同じく図書委員の松倉詩門(しもん)と当番を務めている。背が高く顔もいい松倉は目立つ存在で、快活でよく笑う一方、ほどよく皮肉屋ないいやつだ。そんなある日、図書委員を引退した先輩女子が訪ねてきた。亡くなった祖父が遺した開かずの金庫、その鍵の番号を探り当ててほしいというのだが……。

放課後の図書室に持ち込まれる謎に、男子高校生ふたりが挑む全六編。

(Amazon より)

学校図書館が舞台、あるいは図書委員が主役の本が増えてきています。司書としてはとっても嬉しい！ことです。漸く学校図書館や図書委員に脚光が差してきたなあ、と感慨深いものがあります。

ちなみに第1章「913」とは図書館分類で日本の小説を指します。どこの図書館でも冊数が圧倒的に多いです。

## 朝の読書におすすめの本

- 5分後に意外な結末 エメラルドに輝く風景
- 5分後に意外な結末 バラ色の、トゲのある人生
- 5秒後に意外な結末 オイディプスの黒い真実
- 5秒後に意外な結末 ミノタウロスの青い迷宮
- 恐怖からのドンデン話
- 54字の物語
- 54字の物語 ZOO
- 3分で読めるコーヒープレイクに読む喫茶店の物語
- 3分で読める眠れない夜に読む心ほぐれる物語
- 5分で泣ける胸がいっぱいになる物語
- 5分で凍るぞっとする怖い話
- 5分でドキッとする意外な恋の物語
- 5分後に恋するラスト
- 5秒後に涙のラスト
- 5秒後に後味の悪いラスト
- 5秒後に驚愕のどんでん返し